

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業支援課
 担当名：総務・農業資金・保険担当
 内線：4088 (単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | |
|--|----------------|---------|---------------------------|--|--------|------|--------------------------|-------------------|------|-------------|
| B25 | 保証制度円滑化対策費補助事業 | | | 一般会計 | 農林水産業費 | 農業費 | 農林金融対策費 | 農業信用基金協会特別準備金積立補助 | | |
| 事業期間 | 平成14年度～ | 根拠法令 | 埼玉県農業信用基金協会特別準備金積立補助金交付要綱 | | | 宣言項目 | | | | |
| | | | | | | 分野施策 | 040937 強みを生かした収益力ある農業の確立 | | | |
| 1 事業概要 農業制度資金の機関保証の実施（第三者保証なし）に備え、農業信用基金協会は特別準備金を設けている。県は機関保証の充実を図るため、準備金が保証事故準備に必要な額に満たないとき、その差額を助成する。 (1) 農業災害資金分 △368千円 新規貸付がなかったことによる減 (2) 農業近代化資金分 △1,949千円 新規貸付額が見込を下回ったこと等による減 (3) 農業改良資金分 △3千円 既貸付分に係る償還事故が発生しなかったことによる減 | | | | 5 事業説明 (1) 事業内容 農業信用基金協会の特別準備金に対する助成。 (新) ア 農業災害資金分 368千円 イ 農業近代化資金分 2,241千円 ウ 農業改良資金分 3千円 エ 就農支援資金分 94千円 (2) 事業計画 年末時点の保証事故準備必要額に対して特別準備金が不足する場合、その差額を助成する。 (3) 事業効果 農業信用基金協会の保証基盤の強化により、農業制度資金の円滑な融通が期待される。 (4) 補正予算の概要 ア 農業災害資金分：新規貸付実績がなかったことによる減 イ 農業近代化資金分：新規貸付額が見込を下回ったこと等による減 ウ 農業改良資金分：既貸付分に係る償還事故が発生しなかったことによる減 | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 事業主体：埼玉県農業信用基金協会 負担区分：(1)～(2) (県 2/3) 主体1/3 (3)～(4) (県10/10) | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 「第五節産業経済費」「第一款農業行政費」「2. 農業経営振興費」「(2) 経営振興費」 農業信用保証制度円滑化対策(三位一体改革影響額分) | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円 | | | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | △2,320 | | | | | | | △2,320 | 386 | |
| 現計額 | 2,706 | | | | | | | 2,706 | | |